

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2005-40519(P2005-40519A)

【公開日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-280246(P2003-280246)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月24日(2009.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤面に始動口と特別入賞装置とを備え、前記特別入賞装置は、一对の可動片によって開閉される大入賞口を通じて入球可能とされた内部の入賞空間内に特定入賞口と普通入賞口とを備えると共に、前記特定入賞口への打球の入賞を検出する特定入賞口入賞検出手段を有し、前記始動口への打球の入賞により開放された前記大入賞口に受け入れられた打球が前記特定入賞口に入賞した場合に、大当たり遊技状態となって前記可動片の開放動作を所定回数繰り返すラウンド動作を開始し、1回の前記ラウンド動作中に前記特定入賞口に入賞すると、今回のラウンド動作を終了して次回のラウンド動作を開始し、かつ前記ラウンド動作を予め設定された最大継続回数繰り返すように構成された遊技制御装置を有する弾球遊技機において、

前記遊技制御装置が、

前記始動口への打球の入賞に応じて前記ラウンド動作の最大継続回数を抽選するラウンド抽選手段と、

今回の始動口への打球の入賞に応じた前記ラウンド抽選手段による抽選結果としての最大継続回数を、次回の始動口への打球の入賞を切っ掛けとして大当たり遊技状態となった場合に適用する最大継続回数適用手段と、

前記ラウンド抽選手段が前記最大継続回数を抽選することに応じて、大当たり遊技状態となった場合の最大継続回数を遊技者に予告するラウンド予告演出表示を行うラウンド予告演出表示手段と

を備えたことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項2】

前記最大継続回数が少なくとも大小2種類設定され、

前記ラウンド予告演出表示手段は、前記ラウンド抽選手段が最大継続回数として大きいものを抽選した場合に、小さいものを抽選した場合よりも予告表示を行う確率を低く設定する構成と、小さいものを抽選した場合よりも予告表示を行う期間を長く設定する構成とを含む、ことを特徴とする請求項1に記載の弾球遊技機。